

## 平成28年度 安全教育に係る協力活動

### ○安全講演会の開催

〔開催日〕 平成28年7月21日（木） 13:30～15:00

〔開催場所〕 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所  
先端基礎研究交流棟大会議室

〔講師〕 山松 節男 氏 ビッグ情報株式会社（元旭化成所属）（工学博士）

〔演題〕 「化学物質の安全な取り扱いについて」

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所における全国安全週間行事の一環として、7月21日、ビッグ情報株式会社（元旭化成所属）（工学博士）の山松節男氏を講師に、「化学物質の安全な取り扱いについて」と題する講演会が、原子力科学研究所先端基礎研究交流棟大会議室において開催されました。

講演会は131名の方々が聴講され、東海ノア協定加盟の5事業所からも11名が参加されました。

講演会では、印刷会社での胆管がんの発症事例をきっかけに2016年6月1日から640物質の危険性又は有害性等のリスクアセスメントが義務化されたとの説明がありました。

化学物質を安全に取扱うための基本は、

- ①「有害性とばく露量」を調査する。
- ②「ばく露濃度」を意識する。
- ③「経皮ばく露」を意識する。

ことである。

取扱う化学物質の危険性・有害性をまず調べる習慣を身につけ、ばく露の恐れがないことを調査（確認）することこそが、リスクアセスメントであると説明されました。最後に、リスクアセスメントは、義務との認識を職場に根付かせてほしいと締めくくられました。



〔講演会の様子〕